

## 2 学力向上推進計画

令和4年度版

### 学力向上推進の捉え「沖縄県学力向上推進 5カ年プラン・プロジェクトⅡより」

現在求められている力について、学習指導要領の前文では「学校には、教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の幼児児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」とされ、これからの学校に求められることや、これから育てるべき幼児児童生徒の姿について述べられている。

#### 1 目標

児童一人一人に学ぶ力（知識・技能の習得、自己の学び方）などの生きる力をはぐくむ。

#### 2 基本方針

- (1) 全職員で取り組む体制を確立し、実効性のある実践を推進する。
- (2) 学習指導要領に示された内容をおさえつつ、主体的・対話的で深い学びを意識した授業アップデートを図る。
- (3) 授業の基盤となる支持的風土（支えあう・聞き合う・他者の意見を受け止める関係）を育む。
- (4) インクルーシブ教育の視点を踏まえて、個別の実態把握をし、必要な合理的な配慮を行い、誰もが学べるような授業デザインを日々修正する。
- (5) 児童が自己の学び方をふり返り、俯瞰で自己を捉え直せるような「メタ認知」の機能を高める。

#### 3 学力向上の取組（令和4年度版魅力ある学校づくりパンフレット 参考）

##### (1) 月・授業研の実施で授業アップデート

- ・子どもの学ぶ姿や学ばない姿の実態把握を細かに行き、授業デザインの活かす
- ・授業構想を練る際は、学習指導要領を活用し、各教科の特質である見方・考え方を働かせたり、系統性を把握したりして教材研究に努める。
- ・教師が教えるのではなく、児童が自分のペースで粘り強く学び、どの子にも学びのある授業づくりを目指す。

##### (2) 学校生活の基盤となる支持的風土の醸成

- ・児童一人ひとりが安心して過ごせるように、子どもの言葉や行動を見取り、指導に活かす。
- ・他者の言葉に耳を傾け寄り添い一緒に考えたり、支えあったり、多様な考え方を受け止められるように学習形態を工夫する。

##### (3) インクルーシブ教育の視点を踏まえた授業デザインの構築

- ・児童一人ひとりをよく見て、聞いて、一人ひとりの学びのプロセスを把握する。
- ・個別の学習状況を細かに把握し、個別のニーズに合わせて環境的・人的・物的な支援に柔軟に対応できるよう努める。

##### (4) 学びのメタ認知

- ・キャリアパスポートを活用して、児童一人ひとりが自己実現できるようにする。
- ・見取りやふり返り等を活用して、児童が自己の学び方を俯瞰で把握できるようにフィードバック・価値付け、承認する。
- ・他者との対話を通して、多面的に自己を見つめ、自己理解を図れるよう授業デザインの工夫を努める。

##### (5) 自立した学習者の育成

- ・「問い」を持ち、主体的に学ぶ授業の推進に努める。
- ・自立して学ぶ児童の育成に向けた「自学自習力」を育む。
- ・ICTを活用すること（多くの中の学習資源として活用）などですること、柔軟に「個別最適な学び」（指導の個別化・学習の個性化）を実現できるように努める。

※「メタ認知」とは、「自己の認知のあり方に対して、それをさらに認知すること」  
「知っていることを知っている状態」

## ①基礎的・基本的な知識・技能の習得

### ②思考力・判断力・表現力の育成

- ・教師は、学習指導要領に示された指導内容と学習の系統性を理解し、各教科の見方・考え方を働かせる教科の本質に迫れるような授業デザインのアップデートを図る。

### ③主体的な学習に取り組む態度の育成

児童が主体的に学べるように『問い』が生まれるサポートガイド等を活用する。

#### ○月・授業研の実施（2週間ごとに月・授業研を行う）

- ・教師間の授業参観、リフレクションを実施する。
- ・児童の学びの姿から教師の見取る力を高める。

#### ○読書活動の充実

- ・保護者、地域ボランティアの方による読み聞かせ（毎週火曜日）
- ・読書月間中における職員の読み聞かせ
- ・朝の「読書タイム」
- ・くろしお号の活用・学級文庫・音読指導の工夫

### ④学習を支える力の育成

#### ○基本的な学習態度の確立

- ・聞き合う関係の構築
- ・授業開始時の30秒黙想の実施

#### ○自学学習の実施

- ・家庭学習の習慣化の形成
- ・家庭学習手引きの配布
- ・各学期で表彰

## （2）認め合い励まし合う支持的風土の学級づくり

### ①人間関係づくりの力をはぐくむ取組の充実

#### ○体験活動・人材活用の充実

- ・みなみの里交流 5年生がみなみの里を訪ねての交流会の実施と、運動会・学習発表会にはみなみの里の皆さんを招待しての交流の実施。
- ・AETの先生方との交流会の実施。

#### ○iチェック・教育相談の実施

- ・年2回（iチェックは1回）計画的に実施し、特別な支援を要する児童への指導の充実を図る。

### ②自己の将来や生き方を考える指導の充実

- キャリア教育 各学年、自己及び他者への積極的な関わりを通して、身の回りの仕事や環境への感心意欲を向上させる。

## （3）地域とともにある学校づくり

### ①学校支援ボランティアの活用

#### ○平和教育における講師依頼

慰霊の日に向けて、地域の方をお呼びして戦争・平和についてお話をしてもらう会の実施。

### ②地域・家庭と連携した生活リズムの確立

#### ○ラジオ体操の実施（夏休み）

夏休みの期間中、早寝早起き、活動する運動の奨励する。